

平昌パラリンピック フランスは全体で4位 国内の持ち上がりに課題も

18日（日）に閉幕した平昌パラリンピックで、フランスは7つの金メダルを含む、合計20個のメダルを獲得し、全体で4位の成績を収めました。

フランスは2月におこなわれた平昌オリンピックでは、15個のメダルを獲得し全体で9位でしたが、今回のパラリンピックでは、金メダル7、銀メダル8、銅メダル5の合計20個のメダルを獲得しました。全体では、2位の中立のパラリンピック選手（NPA、ロシア出身の個人資格）（金8、銀10、銅6）、3位のカナダ（金8、銀4、銅16）に続く4位です。

金メダルは、女子アルペンスキーのマリー・ボシェ（Marie Bochet）選手が女子滑降立位、女子回転立位、女子大回転立位、女子スーパー大回転立位で4つ、クロスカントリーリレー（チーム）で1つ、バイアスロンの男子7.5km立位と男子12.5km立位でバンジャマン・ダビエ（Benjamin Daviet）選手が2つ獲得しています。

バイアスロンは平昌オリンピックでも、フランスは3つの金メダルを獲得していて、フランスの強さがうかがえます。また、バンジャマン・ダビエはこのほかにクロスカントリー男子20kmフリー立位とバイアスロン男子15km立位でも銀メダルを2つ獲得しています。

総合で4位と大健闘したフランスですが、国民の関心は平昌オリンピックに比べると決して高いとは言えず、2024年にパリでオリンピック、パラリンピックが開かれることもあり、パラリンピックの盛り上がりが今後の課題となりそうです。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。

いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

